

「おおおけやき」では、上毛新聞のシユニア  
俳壇・シユニア詩壇・青春短歌に掲載された  
本校児童の作品をご紹介します。

### 俳句の部

(十二月掲載)

五年 布下 蒼梓  
クリスマスツリーで星がおどってる



(一月掲載)

五年 布下 蒼梓  
まっすくな線を描いて降りるたか

三年 青木 迦埜子  
クリスマスわらい声がねプレゼント

四年 西山 結月  
冬の朝教室大きな笑い声

六年 茂木 菜々美  
落ち葉ふみ遊ぶ約束友達と

### 短歌の部

(十二月掲載)

二年 佐々城 直毅  
ゆうやけの空ににじがかかったよすべってみ  
みたいなあ彩虹を



二年 ぬのした しおり  
学校の友だちに早く会いたくてまちきれない  
な始業式

五年 日下部 智洋  
本買いとてもうれしい気分だよ続きがとても  
きになるんだよ

五年 井桁 憩  
帰り道鳥がチュンチュン鳴いていた家へ帰れ  
ば犬がワンワン

五年 秋元 颯太  
もう少しねかせてほしいとたのんでも許して  
くれない目ざまし時計

五年 平田 咲  
妹が遊んでほしくて笑わせるおこりたいのに  
笑ってしまふ

五年 町田 楓太  
台風が進路を変えてやってきて雨風晴れのも  
うこうげきだ

四年 山口 星  
庭のねこトカゲとじゃれて遊んでるいつもと  
ちがうするどい目つき

四年 もてぎ ゆうと  
タやけが赤青かさなるいい色だ心うばわれう  
っとりとする

四年 杉田 美月  
学校が虫の声におおわれて秋の空から風がふ  
いてくる

四年 みね川 おう太  
合宿でソフトクリームのプレミアアを買って  
もらったかんとくに

五年 栗原奈々美  
あつい夏ねっちゅうしょうには気をつけよう  
水分ほきゅうが大事だね

(一月掲載)

二年 ぬのした しおり  
テーブルにりんごとくりとかきもあるわたし  
の家は秋がいつぱい

